

広告



◀ジャガイモの花。今年は花が咲くのも早く、7月10日には開花。夏には一面の花畑が広がりました。



▲祖父の代から3世代続く紺田さんの畑では、鶏糞などを使った土作りからジャガイモ栽培に取り組んでいます。

■石狩のジャガイモが購入できる所
いしかり地物市場
〒樽川120-3 ☎73-4500

北海道を代表する秋の味覚・ジャガイモ。石狩でも古くから「男爵薯」や「キタアカリ」といった品種を生産しており、砂地を多く含む土で栽培された石狩のジャガイモは肌が白く、見た目もキレイと評判です。また、平成18年から作っている「とうや」は早出し出荷ができるとあって市場で高い評価を受けています。

「今年は8月初旬から収穫が始まっていて、9月いっぱいまで続きます」とは、食用馬鈴薯部会会長を務める紺田忠幸さん。「今年は雪どけが早かったので、収穫も例年より10日ほど早く迎えています」。さらに紺田さんの畑では今年初めて、畑に被覆資材をかけ

ほっくりホクホク 石狩のジャガイモ

る生育法を試験的に導入。夜間の冷え込みが続く5～6月にかけて行われ、「石狩は風の強い地域なのですが、被覆資材をかけることで土の中の温度が3～4℃上がりました。おかげで栄養たっぷりになっています」

昼夜のほどよい寒暖差によりジャガイモは豊富なでんぶんを蓄えるため、今年は特にホクホクしておいしいと紺田さんは言います。「そのままふかして食べるのが、一番シンプルで、イモ本来の味が楽しめます。ぜひたくさんの人に石狩のジャガイモのおいしさを知ってもらいたいですね」。

原本保存

◆古い文書が残っている国として、日本は世界にも誇れる。和紙と墨文化の威力とでも云つて差し支えない。「温故知新」の言事のとおり、私たちはこれから歴史の事実や思考・行動の形成過程を知ることができる ◆今日、洪水のように氾濫する情報の中、何を後世に伝え残すかとなると難しいところだが、行政資料は単なる市役所の業務記録というよりは、その時代に生きた人々の証であり大切なもの ◆厚田・浜益両村との合併にあたっては文書の散逸を防ぐため、取り急ぎ書庫に保存したが、今後整理の上、原本保存をせねばならない ◆明治維新後、兵部省管轄下にあった石狩を北海道開拓使に引き継ぐ際の克明な引継書や、開拓使石狩出張所と札幌本府との往復文書類が道庁赤レンガに保存されている ◆戦災により戸籍類を残し、戦前の行政資料のほとんどを焼失している本市にとって、過去を探りえる貴重な史料である。一度消失した事実の再現には不可能となるだけに、IT時代にあっても残すべき原本の選別保存を本格的に取り組み時に来ていると考えている。

(市長)

このたび、私の不養生による病氣入院のため、市政運営にご迷惑をおかけしたことをお詫びします。退院後は透析を受けながらではありますが、通常職務に就いていきますので今後ともよろしく願います。